

リハビリテーション科では、これまでに以下の演題発表を行ってきました。

2000年：「人工炭酸泉浴と淡水浴における生体の反応」

(日本理学療法学術大会 鹿児島：P T 左山恵)

「34℃人工炭酸泉浴における深部組織血液動態の評価」

(日本理学療法学術大会 鹿児島：P T 左山恵)

2002年：「仙骨部褥瘡に対する人工炭酸泉浴の下肢局所浴施行による検討」

(日本理学療法学術大会 静岡：P T 荒木靖)

「不感温度での人工炭酸泉浴によって改善をみた閉塞性動脈硬化症の症例」

(日本理学療法学術大会 静岡：P T 石田恵子)

2003年：「人工炭酸泉浴負荷による局所血流の変化とその持続性の検討」

(日本理学療法学術大会 長野：P T 荒木靖)

「直線偏光近赤外線治療法による局所血流の変化について」

(日本理学療法学術大会 長野：P T 石田恵子)

2004年：「集中したP Tにより発症後1年から運動・嚥下機能障害が急速に改善した脳幹梗塞後遺症の1症例」

(日本理学療法学術大会 仙台：P T 石田恵子)

「高濃度人工炭酸泉下肢局所浴負荷前後における血液ガス動態の変化についての検討」

(日本理学療法学術大会 仙台：P T 荒木靖)

2005年：「短期間入院における理学療法記録の工夫について」

(日本理学療法学術大会 大阪：P T 横山大輔)

2006年：「人工炭酸泉浴は廃用性筋萎縮筋の組織酸素飽和度を上昇させる」

(日本理学療法学術大会 群馬：P T 横山大輔)

「高齢者の上肢動作能力と座位保持能力の関連性」

(日本作業療法学会 京都：O T 本多真理子)

2007年：「高齢者の歩行能力を反映する評価指標の検討」

(日本理学療法学術大会 新潟：P T 岡田和義)

2008年：「運動療法の違いが筋硬度と筋組織酸素飽和度に与える影響について」

(日本理学療法学術大会 福岡：P T 北川雅巳)

2009年：「目の前のことからコツコツと～モチベーションの維持がリハビリテーションに及ぼす効果～  
(広島県介護老人保健施設大会 広島：O T 脇谷理恵子)

「ぬり絵を介してみえてくるもの - 認知機能との関係について - 」

(日本作業療法学会 福島：O T 中平啓太)

「文字を媒体とするコミュニケーションエイドを使用する意義 - 使用者とパートナーの視点から - 」

(日本コミュニケーション障害学会 新潟：S T 堀口奈恵)

「コミュニケーションエイドの使用目的に関する一考察」

(日本言語聴覚学会 岡山：S T 堀口奈恵)

「筋スパズム緩和に有効な圧迫によるストレッチ施行時間について」

(日本理学療法学会 東京：P T 保本孝利)

2010年：「居宅介護支援事業所へのアンケートに基づいて行った退院前訪問指導の試み」

(日本理学療法学会 岐阜：P T 中村晋一郎)

「ぬりえを使用した認知機能に対する評価法の検討」

(日本作業療法学会 仙台：P T 谷山貴宏)

2011年：「当法人における住宅改修の実態及びその傾向について」

(日本作業療法学会 埼玉：O T 菊田秀美)

「日曜理学療法開始前後における脳卒中患者のADLの変化」

(日本理学療法士協会神経理学療法研究会学会 兵庫：P T 早瀬謙二)

「日曜・祝日理学療法提供前後における誤嚥性肺炎患者のADL能力に関する比較検討」

(日本理学療法学会 宮崎：P T 廣江健人)

「認知症に対するチームアプローチシステム構築の取り組み」

(広島県介護老人保健施設大会 広島：O T 土岸志穂)